

登録団体見て歩き

全日本年金者組合鎌倉支部「手芸サークル」

全日本年金者組合は、年金制度を学び、より良い制度にするための提言を自治体を通じておこない、年金生活を暮らしやすくしようという目的で設立されました。鎌倉支部は 1990 年に設立され、組合員数は 60 代を中心に 160 名を数えます。組合員の交流を図るための 5 つのサークルがあり、手芸サークルはそのひとつです。1 年前に発足したばかりの新しいサークルで、毎回女性が 15 名ほど参加しています。作るものによっては男性が参加することもあります。

活動は月 1 回（最後の月曜日）の約 2 時間。これまでに、ブローチ作り、ティッシュケース作り、折り紙で内裏雛、紙ヒコーキ作り等がおこなわれました。材料が新聞紙とは思えないほどキレイで丈夫な花のブローチや、古ハガキを再利用した紙ヒコーキ、一枚の紙で作るトトロなど、どれも意外なアイデアが詰まった楽しいものばかり。そのうえ、友人や孫、外国人へプレゼントしても喜ばれると参加者の評判も上々とのこと。

次の企画の内容を考えるのが一苦労とおっしゃる、お世話役の山内さんだが、必ず助言してくれる会員が現れ、最終的には、ちゃんと決まるのだそうです。講師の方もすべて会員の方だそうです。今後は、2 回、3 回シリーズで作る大物にも挑戦してみようという企画も出て、意欲的に活動している様子がうかがわれます。

手芸サークルの講座予定は、鎌倉市生涯学習センター発行の鎌倉萌などを通じてお知らせしています。母体である、全国組織の年金者組合では、年金学習会を月 1 回開催し、社会福祉労務士による相談も受け付けています。（H. I）

連絡先：電話 0467-44-2066（山内）



（手芸サークル・活動の様子）

NPO法人 鎌倉広町の森市民協議会

11 月 12 日、天候にも恵まれ「大収穫祭」が開催された広町の森広場は、たくさんの参加者でにぎわっていました。この催しは、鎌倉広町の森市民協議会他、広町に関わる 3 団体が参画・支援する「広町田んぼの会」「畑の会」「森の会」が主催したものです。参加者は、広町の田んぼに実った米で作ったおにぎり、畑で採れた新鮮な野菜を煮込んだ芋煮、採れたてのサツマイモ、ジャガイモでの焼きいもに舌鼓をうっていました。

また、田んぼや畑を守ってくれた案山子のパレードやわらじ作りも行われました。家族連れも多く、子どもたちは畑に連れて行ってもらい、採れたてのサツマイモをうれしそうに抱えていました。



（お世話になった案山子）

鎌倉広町の森市民協議会は、長年にわたり広町の森のパトロール・管理・ガイド等の活動をされています。



また、環境教育の支援活動も活発に行っており、今年度、高校生ボランティア活動拠点・エアーポート（註）を受けた当鎌倉市市民活動センターに協力し、今回の「大収穫祭」への高校生の参加も引き受けてくださいました。市内の高校生が、食材の収穫ばかりではなくポスター描き等の準備にも

加わったそうです。当日も「食」に関心があるという高校生が参加していました。

代表の大屋さんは「初の『収穫祭』にたくさんの方々がお越し下さり感謝しています。田んぼ・畑の復元作業を通して、多くの市民が『広町の森』の豊かな自然に触れ、親しんでいただくきっかけづくりになったことを嬉しく思います」とおっしゃっていました。（M. N）

連絡先：31-8771（大屋）

<http://www.hiromachinomori.org>

（註）県下の高校生ボランティア支援組織

登 録 団 体 見 て 歩 き

湘南鎌倉生涯現役の会

湘南鎌倉生涯現役の会は、通称「湘現会」といい、平成 5 年に誕生した鎌倉でも有数の会員数を擁する熟年世代による、様々なグループ活動を通して心身ともに健康で生き生きとした生涯現役を目指して実践している会です。

代表の渡邊さんに、お話を伺いました。

目的は「2012 年には、65 才以上の人が 1900 万人に達するであろう高齢化社会にあって私達の願いは、何時までも健康でいたい、出来れば社会のために何か役立つこともしたい、生き甲斐のある生活を送りたい」と云う事に集約できましょう。これらの願いを、仲間とともに互いに助け合って幾分なりとも実現していこうというのが本会の目的です。会員各々が多様なグループ活動を自主的に提案し、「この指止まれ」方式で仲間を集め、種々の活動を展開しているとのことです。

会が運営する主たる行事の一つに定例会があり、2 か月に一度、会員或いは外部から講師をお願いして、生涯現役であり続



ける糧として、歴史・環境・福祉・健康・自然・音楽などの多岐にわたる演題で研鑽に努めています。

「この指止まれ」の分科会活動も多岐にわたり盛んで、今回は、「詩吟クラブ」にお邪魔しました。

詩吟は大きな声で発声するので、きわめて健康によい、をモットーに 7 名のメンバーが楽しく時間を過ごしておりました。

他に写真・歩こう会・気功・手作り・パソコン・英語・ハーモニカ等の趣味のクラブに加えて、シニアサポートの会では、定期的に高齢者施設を訪問し、お年寄りとの会話を通じて、心のふれあいを行っています。

現在、会の抱えている問題は、会員数が増えた例会会場の確保だそうで、お聞きしてかえって、13 年間続いている会の歴史の重さと偉大さを感じました。

湘現会のホームページでは会の詳しい活動・連絡先を紹介しております。 検索ワード「湘現会」にてご覧下さい。

(A. N)

鎌倉湖エコクラブ

鎌倉湖（散在ガ池）から天園に連なる緑豊かな大船丘陵の自然環境の保全と啓発、学習、提言を目的とし、平成 10 年 9 月にこのクラブは設立されました。

発足当時は「ホタルを飛ばそう」を最大のテーマとし、その環境作りに約 30 人の会員全員が汗を流し、1 年後には 300 匹を超える大発生を見ました。今年のシーズンには砂押川流域で大発生し、その乱舞を多くの人が楽しみました。

公園や河川の清掃と毎月の例会、専門家を招いて年に 1 回の環境フォーラムの開催、鎌倉湖の水質調査を年に 4 回実施、夏休みに小学生を対象に自然を知り自然を大切にする心を育む寺子屋塾を開催、さらに冬季には月一回の探鳥会の開催、また、広報活動として「鎌倉湖エコクラブ通信」を年四回発行しています。その他、さわやかセンターのお手伝いとしてフェスティバルには昔遊びとして竹馬、ペーゴマ、竹とんぼ、木の実やススキで物作り、また暮にはミニ門松作りも行っています。

アライグマ、ハクビシン、タイワンリス、ブラックバス、ブルーギル、ミシシippieアカミミガメなどの外来生物による自然環境の変化と、鎌倉湖の水質悪化を如何にして防止するかが当面の課題です。

「素晴らしい緑と自然に恵まれた大船丘陵に囲まれた地域を若い世代に引継ぎ自慢できる自然環境を目指して活動を続けて行きたい。当クラブ活動への参加入会希望の方をお待ちしています」と横溝代表のお話でした。(T. K)

連絡先：TEL 0467-46-6575 FAX 0467-45-8320 (横溝)

E-mail: s-y.yokomizo@ma.newweb.ne.jp



(寺子屋塾風景)

理事会・各部会・諸、実行委員会報告

理 事 会

- 9 月 7 日 理事会 ・利用登録団体懇話会の反省
・全員会議について 他
- 10 月 5 日 理事会 ・自主事業、自主財源について
・全員会議のまとめ 他
- 10 月 19 日 理事会 ・かまくらファンド審査会について
- 11 月 2 日 理事会 ・創立 10 周年記念事業について 他
市との連絡調整会議
- 12 月 7 日 理事会 (予定)

相 談 部 会

- 11 月 1 日 部会
・毎月曜、第2、4土曜日を相談部受付日として設置
・各方面に周知させることを確認
- 12 月 20 日 部会 (予定)

研 修 部 会

- 9 月 5 日 部会 フォーラム打ち合わせ
- 9 月 28 日 部会 フォーラム打ち合わせ
- 10 月 16 日 部会 フォーラム打ち合わせ
- 11 月 22 日 部会 フォーラム打ち合わせ
- 11 月 27 日 部会 ワークショップについて
- 2 月 17 日 フォーラム開催 (予定)

相 談 部 会

相 談 Q&A

Q: 12 万円の備品を購入しましたが、固定資産に計上しなければなりませんか。
2 回に分けて 1 回の支払いが 10 万円未満であれば、備品費で処理できますか。

A: NPO は、取得価額が 10 万円以上のものでも固定資産に計上し、毎年減価償却をしなければならないということはありません。
一時の費用で処理しても構いません。
また、2 回に分割したとしても、会計処理は発生した時点で認識しますので、支払い方法の如何に拘らず、全額を取得価額として処理することになります。

(公認会計士 吉野 功)

組 織 研 究 部 会

- 11 月 17 日 部会
・野村総研跡地の市民的活用についての検討
・当センター登録団体にアンケート実施予定

協 働 事 業 推 進 部 会

- 9 月 25 日 部会 協働事業について
- 10 月 3 日 鎌倉市協働事業推進連絡会との合同会議
- 10 月 19 日 部会 協働事業について
- 11 月 13 日 部会 協働事業について
- 12 月 22 日 部会 (予定)

財 政 部 会

- 9 月 13 日 部会
- 9 月 22 日 部会
- 10 月 21 日 部会
- 10 月 30 日 かまくらファンド事前打ち合わせ
- 11 月 3 日 「NPO 支援かまくらファンド」審査会実施

広 報 部 会

- 9 月 25 日 HP 編集会議
- 10 月 11 日 部会・HP 編集会議
- 11 月 13 日 HP 編集会議
- 12 月 10 日 鎌倉パートナーズ発行
- 12 月 11 日 HP 編集会議 (予定)
- パソコン教室のサポート (9 回)

パソコン教室

第二期生募集!

10 月よりスタートしました第一期パソコン教室は、好評につき、第二期生を募集いたします。

コース : 初心者・初級コース

日 時 : 平成 19 年 2 月 1 日スタート

(3 か月 9 回 木曜日 9:30~11:00)

場 所 : NPO センター鎌倉 2F 会議室

定 員 : 先着 10 名

パソコン: ノートパソコン持参(原則として)

テキスト: NPO センター独自テキスト

※ 「これだけやりたい!」という特別コースもあります。
詳細は NPO センター鎌倉にお問い合わせ下さい。

イベント情報

リサイクル市のご案内

3Rの推進と鎌倉市廃棄物処理施設建設基金への寄付を目的に、第3土曜日にリサイクル市を開催します。ご協力、お願いいたします。

開催日：3月17日(土)、5月19日(土)、7月21日(土)
 場所：鎌倉宮(大塔宮)境内
 販売時間：10時～15時
 出店料：1500円
 主催：ICP地域振興協会
 申込み先：ICP地域振興協会
 家庭利便性福利厚生事業部会
 大船1-23-16 メーゾン大川ビル4F
 往復葉書、FAX 0467-44-0881
 E-mail: ribena@icp.or.jp、http://www.icp.or.jp
 問合せ先：TEL 0467-43-1804

ミニ・オリエンテーリング及びウォークラリー

①史都鎌倉 ミニ・オリエンテーリング

日時：2月25日(日)、3月25日(日)、4月8日(日)
 受付：12時30分～14時
 受付場所：鎌倉生涯学習センター・集会室
 資料代：500円(中学生以下無料)完歩証贈呈
 持ち物：100円程度の方位磁石
 コース設計：モルゲンオリエンテーリングクラブ公認指導者
 主催：鎌倉ウォークラリー研究協議会
 問合せ先：TEL 046-871-3638(渡辺シヅエ)

②史都鎌倉 ファミリー・ウォークラリー

日時・会場：上記に同じ
 資料代：1000円(児童・生徒半額)

AMDA鎌倉クラブ「新春 七福神めぐり」

①浄智寺(布袋尊)→②鶴岡八幡宮(弁財天)→③宝戒寺(毘沙門天)→④妙隆寺(寿老人)→⑤本覚寺(恵比寿)→⑥長谷寺(大黒天)→御霊神社(福祿寿)

日時：平成19年1月7日(日) 9時30分集合
 集合場所：JR北鎌倉駅 円覚寺側 改札口
 解散場所：江ノ電 極楽寺駅(12時30分頃)
 会費：500円(拝観料別)
 拝観料(浄智寺:150円、宝戒寺:100円、御霊神社:100円、長谷寺:300円)
 主催：AMDA鎌倉クラブ
 問合せ先：TEL 090-4667-7298(事務局 吉田)

NPOセンターフォーラム「生きがいと健康」

—医療費を使わずに元気で暮らすために—

☆基調講演 加藤 卓司 氏「健康で長生きするために」
 (かながわ健生クラブ・健康生きがいづくりアドバイザー)

☆パネルディスカッション
 パネリスト 吉田 とめ子 氏「健康生活を維持するには」
 細田 豊 氏「地域の仲間づくり」
 本郷 健 氏「健康生活を送るお金の活かし方」
 松島 誠一 氏「足もみ健康法実技とADL体操」
 (各氏共、かながわ健生クラブ・健康生きがいづくりアドバイザー)

日時：平成19年2月17日(土)13:00～16:00
 会場：鎌倉市福祉センター
 参加費：無料
 主催：鎌倉市市民活動センター運営会議
 後援：鎌倉市高齢者福祉課
 鎌倉市社会福祉協議会
 問合せ先：NPOセンター鎌倉

展 示

「JR鎌倉駅地下道ギャラリー展」を終えて

恒例の「JR鎌倉駅地下道ギャラリー展」が11月15日(水)～21日(火)に開催されました。応募された20団体のパネルを、今年は活動内容から[子ども・学習関係]と[環境・福祉関係]の括りで展示紹介しました。

展示作業を始めるとすぐ、通行の足を止めて展示物を眺める方々があり、期間中はもとより大勢の観覧がありましたが、撤収時にも



片付けをしぼし控えるほど熱心に見入る方々もあって、市民活動への関心の大きさが感じられる展示でした。

出展された団体は、パネルなどの作成にそれぞれ苦心されたようでしたが、それだけに展示された物は多くの人たちを惹き付け、活動内容への理解に多大の効果があつたのではないかと思います。(Y. A & Y. S)

(展示作業の様子)



事務局からのお知らせ

寄付金をいただきました

当センター登録団体でもあります「鎌倉川びらきの会」より、NPO 支援かまくらファンドへ 5 万円の寄付をいただきました。ありがとうございました。

全員会議のお知らせ

当運営会議の正会員による全員会議の日時が決まりましたので、お知らせいたします。

平成 18 年度 第 2 回全員会議

★ 日時：19 年 1 月 26 日（金）18：00～

★ 場所：NPO センター大船

展示スペースをご利用下さい

大船センターの壁面を使って展示スペースを作りましたので、ご利用下さい。

（使用料）※パネルはお貸しします。

全館利用：1 日 500 円

1 パネル利用：1 週間 500 円

会費納入のお願い

平成 18 年度の会費未納の会員の方は、納入のご協力をよろしくお願いいたします。

会員募集中 !! 市民運営を応援してください

正会員数：87 名

個人賛助会員数：18 名

団体賛助会員数：178 団体（12 月 1 日現在）

平成 18 年 12 月 1 日現在 利用登録団体数：311 団体

お願い 登録内容（連絡先・代表者・活動内容等）が変更された場合は速やかにご連絡ください。

休館日について

休館日（第 2・4・5 日曜日、及び祝日）は、「時間外利用」の手続きをされた団体のみが利用できます。

休館日にセンターが開いていても、手続きをしていない団体は利用できませんので、ご注意下さい。

なお、時間外利用の登録につきましては、「鎌倉パートナーズ 40 号」でもお知らせいたしましたが、ご不明の点は、センターに問い合わせください。

お使いになっていないパソコンを寄付してください

お家にノートパソコン眠っていませんか？

Windows98 以上のノートパソコンを寄付していただませんか？ パソコン内に入っているデータはこちらで全て削除いたします。



年末年始の休館日について

NPO センターの年末年始の休館日は、12 月 29 日から 1 月 3 日までです。

また、鎌倉センターは、内装工事のため 12 月 22 日から休館となります。

工事に伴ない、12 月 21 日から 1 月 4 日まで鎌倉センターのパソコンが使用できません。

お急ぎのメールは大船センターに送信願います。

ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

駐車場の利用について

センターに来館の際、市役所の駐車場を利用することができますが、長時間の利用は、お控えください。

ご協力をよろしくお願いいたします。

（市役所がお休みの日は、有料になります。）

編集・発行：特定非営利活動法人 鎌倉市市民活動センター運営会議
神奈川県鎌倉市御成町 18-10 鎌倉市市民活動センター

NPOセンター鎌倉

〒248-0012 鎌倉市御成町 18-10

TEL: 0467-23-3000 内線 2655

TEL/FAX: 0467-60-4555 (直通)

e-mail: npo@chive.ocn.ne.jp



NPOセンター大船

〒247-0061 鎌倉市台 1-2-25

（たまなわ交流センター 1 階）

TEL/FAX: 0467-42-0345

e-mail: npo2@abelia.ocn.ne.jp



2006年12月発行 第41号

特定非営利活動法人 鎌倉市市民活動センター運営会議

神奈川県鎌倉市御成町18-10 NPOセンター鎌倉

<http://www3.ocn.ne.jp/~npo-kama/>



「明日の私たちの地域のために、今・・・」

鎌倉市役所市民経済部次長 相澤千香子

2016年11月下旬のある日、2年前に役所勤めからすっかり身を引いた私は、5年前から同居している母と一緒に、近所の商店街に散歩をかねて買い物に出かけました。私が住むこの地区は、坂道は多いのですが、歩道は広く段差もないので、母でもなんとか杖に頼って歩くことが出来ます。商店街のパン屋さんや魚屋さんで、母はちょっとした会話をしながら自分で選んだ買い物をして、まずまずのご機嫌です。

2006年には鎌倉市の高齢化率は25%で、2014年には32%と予測されていました。私の住む地区は、2006年から既に高齢化率の高い地域でしたが、最近、ご近所を見回してみると、高齢化は予測どおり進んでいるものの、二世帯で住むお宅が増え、子どもの姿が増えたように感じます。

私は今、母の見守りをしながら、週に1回、住宅地の自治会館で開かれる健康教室に母を連れて行き、教室運営のお手伝いをしています。また、庭の手入れの延長として、ご近所の有志と一緒に、種から苗を育てて公園に花を植えたりしています。5年ほど前にできた小学校の「子どもの遊び教室」で、最近、夫が手伝いを始め、うれしく思っています。

(10年後を、希望も入れて想像してみました。ここからは、現実です。)

先日、私は、「自分の地域を理解して、出来ることから行動する市民になって、地域で支えあうネットワークをつくらう」という趣旨のセミナーに参加しました。ワークショップでは、居住地域ごとに特色や人材の洗い出しをしながら、こんな地域にしたいという思いを語り合ったのですが、自分の住む地域について、分かっていることが少ないということに気づかされました。

自治体の職員として働いている私は、明日の私たちのために、今、何ができ、何をすべきでしょうか。市民活動課で所管している市民活動の推進や市民と行政の協働の仕組みづくりは、まさに、明日の鎌倉を、住んでいる人の視線や力で作っていく手助けになるでしょう。また、私的な時間には、月1・2回のNPO活動に加え、自分の住んでいる地区の“現状視察”も必要でしょう。

これからは、自分の地域をどのような地域にしたいのかを、住んでいる人や地域で活動する人たちが考え、話し合い、決めて、行動していくことが、満足できる地域づくりのために重要だと思います。



2006 年度 NPO 支援 かまくらファンド 報告会・審査会

あたたかくなごやかな雰囲気の中行われる

当運営会議による年一度の重要イベント「NPO 支援 かまくらファンド」報告会・審査会が、11月3日、NPO センター大船で行われました。今年は、昨年より多い総額25万円の助成金が用意され、市の広報誌などで募集したところ、5団体から応募がありました。

当日はまず9時にスタッフが集まり会場設営。10時から審査員の方々も集合して、予定や審査方法について1時間ほど打ち合わせをしました。助成金に差をつけるべきかなど議論が交わされましたが、結局最後になって、各団体一律支給という結果になりました。このことは、熱心な活動報告、各団体の切実な財政の話を聞くと、助成金に差をつけることの難しさを感じさせることでした。

午前中の報告会は、昨年度のファンドを受けた3団体「なかよし会」「鎌倉を美しくする会」「カスタネット」が活動の報告をしました。写真、ビデオ、資料掲示などによる1団体15分間の発表後、審査員からの質問を受けました。各団体共、日頃の活動の説明を明快にされていました。

(鎌倉を美しくする会)



(なかよし会)



1時より再び審査方法、審査項目の解釈などについての打ち合わせをしました。

2時近く、応募団体の人たちも集まり、部屋が賑やかになる中、2時からいよいよ審査会開始。

今年応募した5団体は次のとおりです。

「犯罪から鎌倉を守る会」：防犯活動

「カスタネット」：障害児支援活動

「ふだんぎコーラス」：高齢者慰問活動

「ワーカーズコレクティブ・グループゆう」

：高齢者障害者へのホームヘルプ活動

「鎌倉広町の森市民協議会」：広町の森保全活動



(犯罪から鎌倉を守る会)



(カスタネット)



(ふだんぎコーラス)



(グループ・ゆう)



(鎌倉広町の森市民協議会)

応募団体の皆様からはそれぞれビデオや紙表示、文書を使って熱のこもった説明を受けました。審査員も真剣に疑問質問を呈しましたが、各団体どれも甲乙つけがたく、審査員を大いに悩ませました。審査終了後、30分ほどの休憩時間の間に採点を行ったところ、わずかの差で順位がつけましたが、結局全団体一律5万円ということになりました。

幾つかの反省点を残しましたが、無事に審査会を終えることができたのは、関係者皆様のご協力の賜物とここに感謝申し上げます。(財政部会リーダー 平井 嵩)

鎌倉団塊プロジェクト～第 2 回 鎌倉団塊世代地域デビューへのお誘い

鎌倉団塊プロジェクト実行委員会が主催する「第 2 回 鎌倉団塊世代地域デビューへのお誘い」が開催されました。

開催日：平成 18 年 11 月 19 日（日曜日）

時 間：午後 0 時 30 分～午後 4 時 30 分

場 所：鎌倉市立御成小学校 多目的ルーム

あいにく天気は曇りがちで、午後からは小雨がぱらつきましたが、予約をいただいていた方とは別に当日の飛び入り参加者も多く、合計 150 名の方の参加を得ました。

★第一部★★★

基調講演は大本山円覚寺管長・足立大進老師の『くありがとう>の人生』で、足立管長は、会社人間から地域人間に再スタートする団塊の世代に対して、人は自分一人で生きているのではなく、ご縁とお陰によって生きていられるのだということの時折ユーモアを交えながら説かれました。



つぎに既に地域デビューを果たした市民活動体験者 3 氏の体験談に移りました。

3 氏は、それぞれご自分の体験を次のようなテーマで話しました。

男性ボラ・ヤローズの島村学さん

『趣味、ボランティア、日常生活』



ふだんぎコーラスの渡利晴夫さん

『歌と映画の町鎌倉への恩返し』



鎌倉歩け歩け協会の清田安孝さん

『ウォーキングで仲間作りと健康増進』



そして、コーディネーターの北鎌倉湧水ネットワークの野口稔さんが全体をまとめました。



★第二部★★★

20 の市民活動団体がパネル展示をし、各団体から説明員が派遣されました。休憩時間などに各団体の活動状況や個人の体験感想などを聞く参加者の姿が目につきました。

第二部の冒頭に渡利さんの主宰する「ふだんぎコーラス」の会員約 20 名が童謡や懐かしのメロディーを唄い、全員の合唱になりました。曲は、「赤とんぼ」「もみじ」「誰か故郷を思わざる」「銀座カンカン娘」などいろいろでした。

その後、サンドウィッチやお菓子とお茶を頂きながら、再度、参加者と各団体の交流が続きました。

時間いっぱいそれぞれの立場から鎌倉の市民活動が語られ有意義な機会が創り出されました。



（交流風景）



（素敵な歌声）

この状況は、下記のホームページでもご覧いただけます。

<http://www3.ocn.ne.jp/~npo-kama/dankai/event2006-3/index2.htm>

なお、鎌倉団塊プロジェクト実行委員会は、鎌倉市と鎌倉市市民活動センター運営会議、鎌倉シチズンネット、北鎌倉湧水ネットワークが結成した官民協働の組織です。

（団塊プロジェクト実行委員 廣明 幹雄）